

「田中信義君」の思い出

ガネフォ会

野澤博

(中央大学出身)

彼が中央大学へ入学したのは、私が3年生の昭和33年でした。小柄で色白で眼の大きなハンサムな男でした。(女性にもてた) 練習はそこそこ頑張っていました。田中は城北高校から来た浜野と同期で、二人ともフォワードでしたが、ポジションは田中が中盤で浜野がゴール前でしたので、お互いに良い刺激になったと思います。

田中はすばしっこく動き回るのが得意で、泳ぎながら左手で小さなストロークで打つシュートはなかなか止めづらかったと思います。

我々は、練習で彼の癖をつかんでいたもので、それほど怖いと思った事はありませんでした。

昭和34年の第1回末広杯記念室内選手権大会が開催され、決勝に進み、相手は前年アジア大会に出場した、元日本代表メンバーである58クラブと対戦し3対2で勝って中央大学が優勝しました。

その得点の内2点を田中が入れたのです。ゴールキーパーは鉄壁の守りで有名な加藤さん(早稲田大学出身)で、その守りを2点とも彼が得意なゴール前左から右にドリブルしながら目にも止まらぬクイックシュートで入れました。私は反対側のゴール前からしっかりと見ていました。実に見事でした。もう1点は藤岡の払うようなこれもまた左手のシュートでした。

58クラブのメンバーは、全体として動きが若干悪かった様に思いました。(練習不足?) それにしても戦う前は、まさか勝てるとは思っていませんでしたので、田中君の大活躍で勝てたとの思いが一番強いです。

卒業後、私が第一証券(現:三菱UFJ証券)の川崎市の登戸支店長の時、彼がやはり安田生命の川崎支店長をしていて、彼に出会い仕事上で何かお互いに助け合うことが出来ないか相談した事がありました。(自由に使える交際費が、私の2倍以上あるのには、びっくりしました。)昭和58年ごろの事でした。その後お互いに転勤などで会っていませんでしたが、その8年後の平成2年12月19日に突如亡くなりました。まだまだこれからと言う51歳の若さでした。お葬式に出席しましたが、大変ショックだった事を憶えています。その他のエピソードは、皆様とお会いした時に又お話しします。